

3人4脚

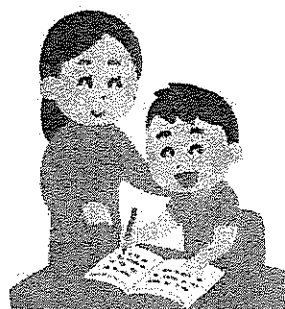


R 元. 7/5(金) 第4号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

夏休みまでの出席日数・・・あと10日!!

～反省なくして進歩なし・・・今一度お子さんの取り組みをご確認ください。～

梅雨前線の活躍のため、ジメジメした日々が続いていますが、早いもので、1学期も残すところあと2週間となりました。学校に来るのもあと10日となった今、お子さんの様子はいかがでしょう。・・・いくつかの教科で期末テストの間違い直しの課題が出されていますが、この間違い直しを自主的に取り組むか・取り組まないか、あるいは課題をやるか。それらの差は大きいと思います。まさしく“反省なくして進歩なし”です。今一度お子さんの取り組みを確認してみてください。

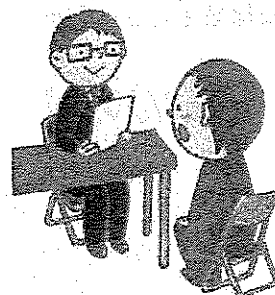


期末テストが終了してからすでに3週間が過ぎ、子ども達は部活動に一生懸命取り組んでいます。先週の6/28(金)は壮行会が行われました。・・・3年生にとっては中学校最後の大会となります。「練習は裏切らない」ことを信じ、さらに一層熱心に練習に取り組むとともに、その姿を後輩達に見せることにより、より良い部活動を目指してほしいと思います。

教育は共育である・・・子どもから学ぶ・子どもと学ぶ

毎日の学校生活において、色々なことを体験し、一つひとつを成し遂げながら子どもは、成長してきています。しかし、場合によっては、友人関係、学級の中での問題、部活動の中での問題など子どもによっては悩みを抱えることもあります。

わたしは、6月17日より274名の生徒全員との面談を始めました。1学期は1年生、夏休み中に3年生、2学期に2年生と面談を行います。すべての生徒の様子を見守りながら、一つひとつの問題に、**耳+目+心=聴く**ことを大切にしていかなければならないと思っています。・・・次に紹介するのは、1年生との面接を行うにあたって、「中学生になった今、頑張りたいこと」の質問に対して、1年生が記述したものの一部です。(子どもは本当に凄い。・・・感動しました。)



- ・自分がした事と素直に向き合っていきたい。なぜなら、小学生の時、先生におこられそうになったら、ウソをついて、罪をのがれようとしてしまったから。
- ・まずは、中学生としてできる基本的な事を身につける。友達との仲を深める。勉強も部活もがんばる。
- ・(前略)西中は、一色小学校から来た人もいるので、その人達と仲良くなることも頑張りたいです。
- ・親の手伝い。・・・色々親は大変なので、ぼくが手伝ってあげたい。
- ・秋麗祭...ステンドを頑張りたいです。兄の作品を見て、自分も頑張りたいと思いました。
- ・できない事ばかりに挑戦するのではなく、できる事からコツコツとしていきたいと思っています。そんなことを頑張りたいです。
- ・算数が数学になり、求めることが難しくなってきたので、家での自主勉強をがんばりたいです。

- ・学級代表なので、クラスをより良い方向に行けるように頑張りたいと思います。
- ・(前略) 2つ目は部活動です。〇〇部に入りました。みんなについていけるように頑張りたいです。そして、何よりも、部活を通して、礼儀を学びたいと思います。あいさつなどが、いつでもしっかりできるように頑張りたいです。

かなり前の話になりますが、大学4年生の時に教育実習を経験しました。“初心忘るべからず”という言葉がありますが、その時指導していただいたことは今でも深く心に刻まれています。…「教育は共育である」…この言葉は、担当してくださった先生に教えていただいたのですが、特に印象に残っています。「教育は教え、育てることではなく、子ども達と共に、自分自身を育てることだ」ということを身をもって指導してくださいました。



92名の生徒全員が参加…大きな成長が見られました。

6月22日(土)から24日(月)にかけて京都・奈良への修学旅行に行ってきました。天候が心配されましたが、ほとんど雨に降られませんでした。1日目の最後の見学地である法隆寺で、急な大雨が降りましたが、すぐに止んで、暑い修学旅行となりました。

何より嬉しかったのは、92名の生徒全員が参加できたことです。さらに嬉しいことに、大きく体調を崩す生徒が1人もなく、全員が健康で無事に二宮まで帰ることができました。3日間を通じて、3年生の大きな成長を見ることができました。このことは、秋麗祭への取り組み、また、進路決定に向けて、絶対に、発揮されるものと信じています。



◎舞妓さんと一緒に「ハイ…ポーズ」

◎友禅染体験学習…「真剣です」

◎銀閣寺にて

2名のオリンピック来校…貴重な体験をしました。

2年生を対象にした「JOC オリンピック教室」が7月3日(水)に行われました。これは、オリンピックが教師役となり、自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えるもので、伊藤俊介(アトランタ大会出場:水泳)さんと高尾千穂(ソチ大会出場:スキー)さんの2名が講師として運動と座学の授業を行いました。

「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つのキーワードの話の後、『普段の生活の中で感じていることを3つのオリンピックバリューにあてはめて考えてみよう。』というグループワークを行いました。生徒達は班ごとにしっかりと話し合い、6つのすべての班の代表者が発表を行いました。…生徒達にとって大変貴重な体験となりました。

